

学校だより

京都市立洛西中学校
平成20年7月7日
(第7号)

7月7日は、「クールアース・デー」!

このたび、文部科学省より、去る6月17日に開催された地球温暖化対策推進本部において、毎年7月7日を「クールアース・デー」とすることが決定されたとの通知があり、周知についての依頼がありました。

つきましては、このたびの「クールアース・デー」について、その趣旨、概要等をお知らせするとともに、京都市における環境に関する取組、あるいは各ご家庭でできる取組などを考えていただき、機会にしていいただければと思います。

「クールアース・デー」の設定について



○趣旨；地球温暖化の防止や自然との共生に向け、わが国が国際社会において重要な役割を果たすため、まず、わが国が率先して、国民みんなが地球環境を考え行動し、それを世界に対して広く発信することが必要である。

このため、G8サミットが7月7日の七夕の日に開催されることを契機に、天の川を見ながら、地球環境の大切さを国民全体で再確認し、年に一度、低炭素社会への歩みを実感するとともに、家庭や職場における取組を推進するための日として、クールアース・デーを設ける。

「京都ジュニア環境サミット」を開催!

京都市においては、6月22日に「京都ジュニア環境サミット」を開催し、会場の子どもと大人がともに提案した「私たちの確かな未来へ・KYOTO行動アピール」を採択して地球温暖化防止に向けたメッセージを発信しました。

また、京都議定書が発効した2月16日を記念して、毎月16日を「環境にいいことをする日」と定め、「DO YOU KYOTO?」を合い言葉に、すべての市民に「環境にいいこと」を実践するよう、すすめています。

本校も、KES学校版「環境にやさしい学校」

(裏面へ)

本校におきましても、環境に関する取組を、さまざまにすすめており、2年前からKES学校版「環境にやさしい学校」の認定を受けています。

認定書には、このように書かれています。

あなたの学校は、（中略）「京都議定書」誕生の地の学校として、地球環境の保全が人類共通の最重要課題の一つであることを認識し、全校で教育と学習を通じて環境を守る大切さを学び、積極的に活動することができました。よって、「環境にやさしい学校」に認定いたします。

この認定書に恥じない、認定書にふさわしい「環境にやさしい学校」として今後とも、取組をすすめていきたいと思えます。

本校の今年度の環境に関する新しい取組



その①「緑のカーテン推進事業」

「緑のカーテン」とは、校舎の壁面にネット等を張って、朝顔、ゴーヤ等のつる性植物をプランターで育て、つるをはわせることにより、植物（緑）のカーテンを育成すること。

本校では、西校舎の東壁面と校門東側の金網に朝顔、南校舎の南壁面のゴーヤなど、数カ所で実施しています。本格的に育つのは、まだ数ヶ月かかると思いますが、楽しみにしててください。

その②「校内緑化（草花植え替え）大作戦

北校舎と南校舎の間、中庭周辺（職員室の南側周辺）に、いろいろな種類の草花を植えたプランターで一杯にします。それから、南校舎の南側の花壇にも、多彩な草花を一杯育てます。

今年4月から、植物に大変詳しく、ご自身もご家庭などで草花を植え、育ててこられた、この洛西地域にお住まいの、石本秋稔さん（京都大学名誉教授、医学博士）が、本校の校内緑化（草花植え替え）大作戦に、ご尽力いただいています。

「園芸ボランティア」という名札をつけて、学校内でつるはしやスコップを持って活動されています。また、PTAでは、本部役員の方、教養委員会の方など、大勢の方がこの企画に協力していただいています。生徒の皆さんも、休日の部活動や月末清掃のりなどに、協力してくれています。

今年本校創立30周年。記念式典を10月2日に行います。この日に合わせて、「学校を綺麗な花いっぱいにしていきましょう」と張り切っていただいています。広い広い学校の敷地です。一人や二人の力では、思うように作業がはかどりません。保護者や生徒の皆さんの応援・協力が是非とも必要です。毎月の月末清掃の時、また夏季休業のお盆明けの時、園芸ボランティアを募集します。奮って、ご参集下さい。よろしくお願ひします。